

- 講師：金子利枝子
(株式会社博進堂 アルバム事業部営業)
- 日時：2017年5月23日(火)13:30~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：8名

[プログラム]

- 自己紹介：「受講動機は？」
「今後、どのように活かしていきたいか」
- 講話：「理工学書や女性誌、そしてアンドアルファの
編集者時代に学んだこと」
- 質問タイム
- 講義：「媒体に掲載する文章を書くための取材と
コピーライティングのポイント」
- 個人ワーク：「『開運キレイさん』の文章を書いてみよう」
- 発表：取材・原稿作成の感想

取材とコピーライティングのポイントを学ぶ ことばに親しむ講座

当社ではかつて「アンドアルファ」というタウン誌を発行していました。講師の金子利枝子さんは、前職の経験を活かし、その編集者として東京からUターン就職で入社しました。写真印刷を得意とする当社ですが、文字主体の印刷物の仕事の幅はさほど広くありません。そこで経験豊富で、入社以来さまざまな職場でマルチな才能を発揮している金子さんから、文章を書くことの面白さとライティングのポイントを学ぶ講座を企画しました。当日は編集者という職業との出会いとその後のサクセスストーリー、取材時の話の引き出し方、文章づくりのコツ、チームで仕事を進める利点などを語っていただき、参加者一同、関心しきり。「自分に限界をつくらない」「どんな仕事も楽しむ」を信条にしてきた金子さんから大いに刺激をいただくと同時に、文章を書くことの楽しさを味わう講座になりました。



[講師より]

「ことばに親しむ講座」と銘打ったものの、前半、自分史を語りすぎたことを反省しています。でも30年前から今までの自分を振り返る作業は、忘れていた人や出来事をたくさん思い出して懐かしく、楽しい時間を過ごせました。人数は丁度よかったと思います。色々な部署、年齢の方から参加いただけたのは嬉しかったです。もっと取材やライティングの具体的な事例を用意しておけばよかったなと思いました。個人ワークで書いていただいた文章は、短い時間だったのにかかわらず、皆さんうまくまとめている、さすが印刷会社の社員だと感心しました。

書くことは考えをまとめたり、自分の気持ちを残しておく手段のひとつでしかありませんが、今回の講義をきっかけに、日記をつけたり、SNSに投稿したり、気軽に書くことを始めていただけたら嬉しいです。

株式会社博進堂 アルバム事業部 営業
金子利枝子



CHECK OUT CARD

- ・文章に関わる人々の関係を意識する。
- ・自己の限界を感じた時、すぐ人に見てもらう。

CHECK OUT CARD

このような事でも、形にする事の楽しさを感じました。

何か書いてみよかな...

CHECK OUT CARD

"ことば"だけなく仕事の基本となることも教える。"た"ました。

"読みかると嬉しい"の気持ちを大切にします。

CHECK OUT CARD

インタビューで誘導する、というのはいまの時代が難しい...と思ったり、楽しいが(せつ)で終わって(もう)...

CHECK OUT CARD

参加してよかったです。
ありがとうございました。

CHECK OUT CARD

人々いろいろたまたまにはまずは興味をもつ。それが何をやるにも大切なことと改めて感じました。

CHECK OUT CARD

会社の歴史なども周知したい。仕事に活かしたいと思えます。

CHECK OUT CARD

アポアルがこれほど懐く若くエネルギーがみなぎっている時代、みんな輝いていけるね。多くの部署を経験されたからこそマルチな才能が開花されているのでしよう。美に制講座ですね。ありがとうございます。ジーンズおね！

